

しもの診療所だより 2月号

今月号は花粉症（アレルギー性鼻炎）のお話です。アレルギー性鼻炎は、花粉、ダニ、ハウスダストなどのアレルギー原因物質によって体内にヒスタミンが放出され、神経や血管などを刺激することで症状が出ます。具体的な症状としてはくしゃみ、鼻水、目のかゆみ、倦怠感、微熱、皮膚のかゆみ、咽の痛みなどがあります。症状の緩和や予防としては花粉症の薬を花粉飛散の1～2週間前から内服すると、シーズン中の花粉症症状がかなり軽くなると報告されています。時期的には2月初め頃から内服を始めるといいです。スギ花粉が終わる3月くらいまでの内服になりますが、ヒノキ花粉症もある方はもう少し長く内服したほうがよいと思います。診療所にも花粉症治療の内服薬、点鼻薬、点眼薬ありますので症状のある方や予防内服始めたい方などお気軽にご相談ください。

花粉症を引き起こす主な植物と飛散時期

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
スギ												
ヒノキ												
ケヤキ												
イネ												
ヨモギ												
ブタクサ												

しもの診療所 院長 川井 祐輔